

事業番号	09 04 42	事業改善シート (27年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	水産試験場試験研究費				担当課	部局	農政部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	園芸畜産課		
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産			E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp		
					実施期間	S56 ~		

### 1 事業の概要

目指す姿	長野県の水産業を持続的に発展させるために、河川湖沼漁業においては良好な水産環境の保全技術及び水産資源増殖技術の開発、養殖業においては魅力ある養殖品種の開発及び魚病対策技術開発を目指す。		
------	--	--	--

現状 (予算編成時)	○県内河川湖沼漁場において、コイのヘルペスウイルス病やアユの冷水病等の魚病が発生し、また、ブラックバスなど外来魚による在来魚の生息環境の悪化がみられる。 ○養殖業において、新たな養殖品種の普及及び信州サーモンの品質向上が求められている。		
------------	---	--	--

県が関与する理由	県でなければ実施不可 (法令等義務)	【左記の説明、根拠法令等】
	県民との協働による実施: 実施中	持続的養殖生産確保法に基づく特定疾病の確定診断。地域課題解決に向けた試験研究開発は県で実施する必要がある。

成果目標・事業内容	① 成果目標 (H27)					
	水産資源の増殖及び養殖業の生産性向上に関する試験研究を進捗させる。 ・研究目標達成率 11%(18研究テーマのうち2テーマを完成させる)					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H27事業実績	H27 (当初)	H27 (決算)	H28 (当初)
	増養殖技術の改良・確立	直接	・アユの疾病対策 ・河川漁場の増殖管理手法開発 ・コイヘルペスウイルス病対策研究	3,522	3,452	7,132
市場性の高い品種の開発	直接	・マス類の品種改良 ・マス類の高品質生産技術開発	2,647	2,594	2,606	
水産環境の保全	直接	・外来魚駆除技術開発 ・諏訪湖有用水産資源増殖技術開発	1,868	1,831	1,629	
合計			8,037	7,877	11,367	

事業コスト	区分 (単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度
	前年度繰越				
	当初予算	9,006	7,872	8,037	11,367
	補正予算	-1,327			
	合計(A)	7,679	7,872	8,037	11,367
	一般財源	2,235	2,260	2,732	3,930
	Aの財源				
	県債				
	国庫支出金	1,057	938	1,132	2,855
	その他	4,387	4,674	4,173	4,582
決算額(B)	7,544	7,801	7,877		
概算人員費					
職員数(人)	8.50	8.50	8.50	8.50	
概算人員費(C)	70,193	70,193	70,346	70,346	
概算事業費(B(A)+C)	77,737	77,994	78,223	81,713	

成果目標の達成状況					
項目	H26末 (実績)	H27			H28 目標
		目標	成果	達成状況	
研究目標達成率	-	11%	11%	達成	17%

目標に対する成果の状況	養殖技術の改良・確立、市場性の高い品種の開発、河川湖沼の増殖技術開発等について計画的に事業を実施することで、2つの新たな知見が獲得ができ、県内水産業の生産振興につながった。
-------------	--

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない	<input type="checkbox"/> 事業を見直して実施	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	県内水産業を持続的に発展させるために、河川湖沼漁業及び養殖業に関する技術開発に必要な新たな知見の取得を推進する。		